

関西エアポートグループ 環境調達ガイドライン

1. はじめに

関西エアポートグループは、地球規模での環境問題解決の重要性を認識し、公共インフラである空港の運営を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することを「環境理念」としています。この理念と「環境基本方針」に基づき、「脱炭素」「循環経済」「環境共生」の取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献することを「環境ビジョン 2050」に掲げています。また、その達成に向けたマイルストーンとなる具体的な目標を「環境目標 2030」で設定し、関西エアポートグループ一丸となって環境活動を推進しています。

2. 環境基本方針

- グループ社員一人ひとりが、日々の業務において地球環境の保全に努めます。
- 事業活動に伴う環境負荷を明確にし、低減に向けた目標を設定して積極的に取り組みます。
- 定期的に取り組みの進捗確認を行い、内容の改善に努めます。
- 空港分野において先駆的な役割を果たします。さらに航空分野を含む空港全体の負荷低減にも貢献します。
- 空港や地域に関わる全てのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションに努めます。

3. 環境目標（目標年次：2030 年度）

- 脱炭素：関西エアポートグループの温室効果ガス排出量を 2016 年度比 50%削減
- 循環経済：①空港全体の廃棄物焼却量を 2016 年度レベルより増加させない
②関西エアポートグループの使い捨てプラスチック使用量を 2016 年度比 30%削減
- 環境共生：①適切かつ着実に周辺環境の監視を継続
②空港全体の水の総使用量を 2016 年度レベルより増加させない
③関西エアポートグループの上水使用量を 2016 年度比 15%削減
④生物多様性の保全

詳細参照：[環境計画 | 関西エアポート](#)

4. 環境調達基本方針

上記の「環境理念」「環境基本方針」を軸に、以下の事項を関西エアポートグループの環境調達の基本方針とします。サプライヤーである取引先企業の皆様とともに連携

を深めた取り組みを進めてまいります。

① 脱炭素：

サプライチェーンを含む環境への負荷量（Scope3）を把握し、温室効果ガス排出量の低減と省エネルギーの推進に配慮した調達を行う。

② 資源経済：

2050年度までに Zero Waste Airport の実現に向けて、廃棄物の削減及び再資源化の推進に配慮した調達を行う。

③ 周辺環境との共生：

騒音の低減、水利用の効率化や生物多様性に配慮した調達を行う。

5. 環境調達の取組

環境調達基本方針に従い、原則的に以下の調達を優先して取り組むことに努めます。

① 物品（資機材、消耗部品、機器装置、設備、車両など）

- ・ 環境負荷が少なく生物多様性に配慮した物品
- ・ 環境ラベル（CFP、エコマーク、エコリーフなど）または環境規格（ISO/TC207 環境マネジメント）が表示された物品
- ・ 環境省「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」適合商品
- ・ 低炭素資材、脱プラスチック製品、再生材料を利活用した資材や物品
- ・ 廃棄時のリサイクル可能及び処理・処分が容易な物品、資材
- ・ 長期間使用することができる耐久性のある車両、設備、機器装置及び物品
- ・ 省エネルギーや再生可能エネルギー、水素の利活用が可能な車両、設備及び機器装置

② 工事設計・施工

- ・ 環境負荷が少なく生物多様性に配慮した設計及び工法の提案
- ・ 「①物品」を満たす資機材を優先的に採用した工事の設計及び施工方法
- ・ 工事の実施に際して温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、廃棄物・リサイクル量、上水使用量など環境への負荷量を把握できる施工方法及びその工程
- ・ 汚水、排気ガスなどの発生を抑制・削減することができる施工方法及びその工程
- ・ 廃棄物の発生を抑制と削減、又はリサイクルを促進することができる施工方法及びその工程
- ・ エネルギーや上水等の資源の消費を抑制・合理化に工夫する施工方法やその工程
- ・ 生物多様性の保全に配慮した施工方法及びその工程
- ・ 環境負荷の少ない高効率なエネルギー源等を導入した施工方法及びその工程又は工事の成果物
- ・ 修繕や補修頻度を低減するため、長期間使用することができる耐久性のある工

事成果物

- ③ サービス（清掃、警備、駐車場、店舗などの事業運営、運用保守など）
 - ・環境負荷が少なく生物多様性に配慮したサービスの提供
 - ・サービスの提供に際し、優先的に「①物品」を満たす資機材の導入
 - ・サービス提供で発生する廃棄物、汚水、排気などの抑制・削減、又はリサイクルの促進
 - ・サービス提供におけるエネルギー・資源消費の抑制・合理化の工夫

- ④ その他
 - ・物品の輸送、搬送または人員の移動にあたって、最適なルートや低燃料消費などへの考慮
 - ・関西エアポートグループのバリューチェーンとして、環境負荷量の把握（Scope3）と削減にあたって、エネルギーの使用量、温室効果ガスの排出量（カーボンフットプリントの明示）、削減量の見える化

6. 取引先企業選定に当たっての考え方

- (1) 取引先企業選定にあたっては、従来の品質、サービス水準、価格、信用性、専門性及び技術力等を選定基準とするとともに、環境配慮への取組状況や関西エアポートグループ環境調達の取組への対応可否についても考慮するように努めます。
- (2) 関西エアポートグループの Scope3 の温室効果ガスの排出源としては、建設工事に伴うものや商品の購入・販売に伴うものがあります。また、取引先企業による物品等の製造に関する排出、輸送に伴う排出、委託業務の履行にともない排出されるもの、また、使用済の廃棄に伴うものも考えられます。関西エアポートグループの環境目標や取り組みのなかで上記に関する温室効果ガス排出量について、取引先企業からの情報提供を求め、把握するように努めます。

7. 適用

本ガイドラインは、関西エアポートグループが調達する物品、サービス、工事の設計・施工に適用します。

附則

- (1) 本ガイドラインは、関西エアポートグループ環境計画の見直しまたは社会情勢の変化等により必要に応じ随時改訂します。
- (2) 本ガイドラインは 2024 年 11 月 1 日より施行します。

以上